



N-アッセイ

ニットーボー

L CRE-K

体外診断用医薬品

血清、血漿または尿中のクレアチニン測定用試薬

- ▶▶ 酵素法を用いているため、特異性に優れています。
- ▶▶ 測定範囲 0.02 ~ 50mg/dL

N-アッセイ L CRE-K ニットーボー

【測定原理】

第一反応として、検体中に存在するクレアチンはクレアチナーゼ、ザルコシンオキシダーゼ、カタラーゼの作用で水と酸素に分解処理されます。次に第二反応として、検体中のクレアチニン (CRE) はクレアチニナーゼの作用でクレアチンとなり、ついでクレアチナーゼによってザルコシンを生じ、さらにザルコシンオキシダーゼによって過酸化水素を生じます。生成した過酸化水素は、パーオキシダーゼ (POD) 存在下で N-エチル-N-(2-ヒドロキシ-3-スルホプロピル)-m-トルイジンナトリウム (TOOS) と 4-アミノアンチピリンを酸化縮合させます。生成した縮合体 (キノン色素) を比色することにより、クレアチニン量を求めます。

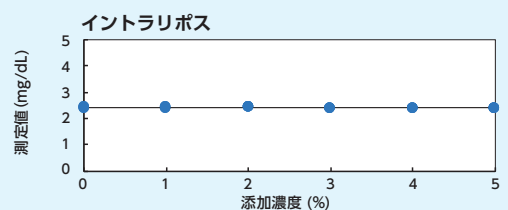
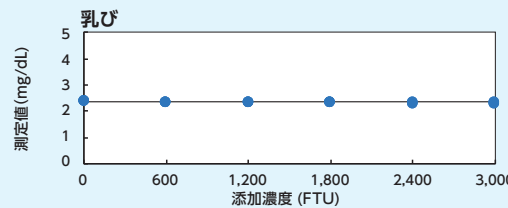
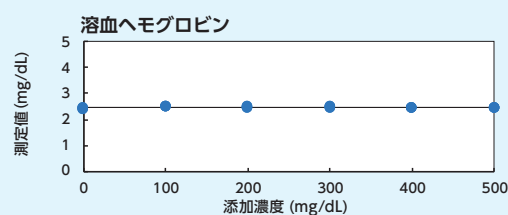
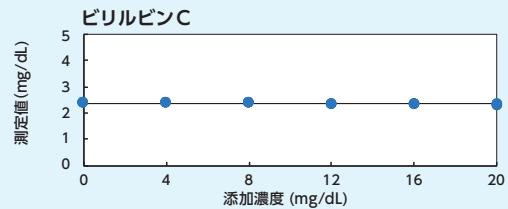
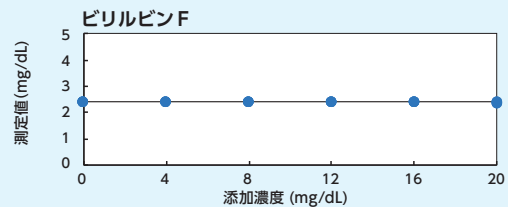
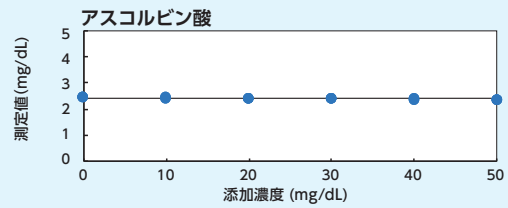
<血清>

【日立7180形自動分析装置にて測定】

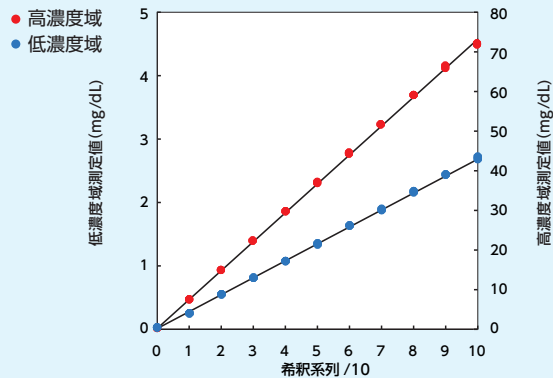
同時再現性

検体 I (mg/dL)		検体 II (mg/dL)	
データ数	20	データ数	20
平均値	1.053	平均値	4.353
最大値	1.06	最大値	4.39
最小値	1.04	最小値	4.32
範囲	0.02	範囲	0.07
標準偏差	0.006	標準偏差	0.021
変動係数	0.52%	変動係数	0.48%

共存物質の影響

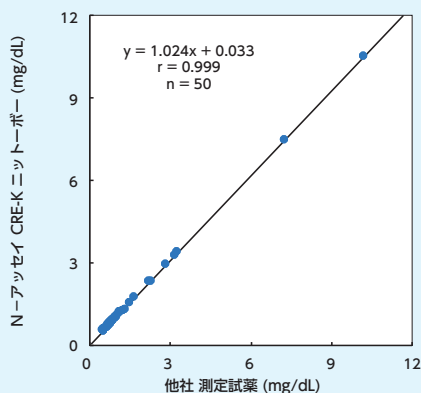


直線性



相関性

【日本電子JCA-BM8040形自動分析装置にて測定】



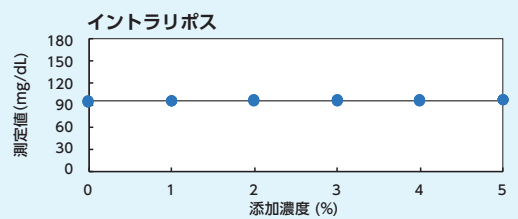
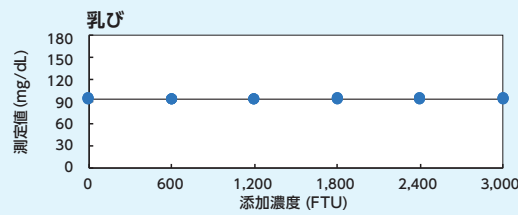
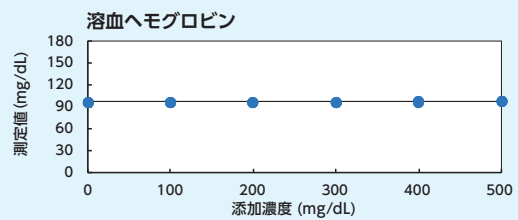
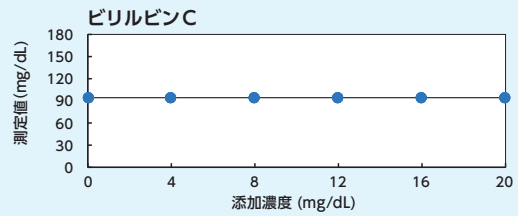
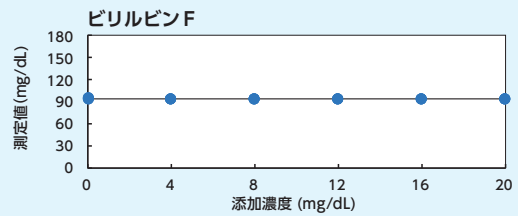
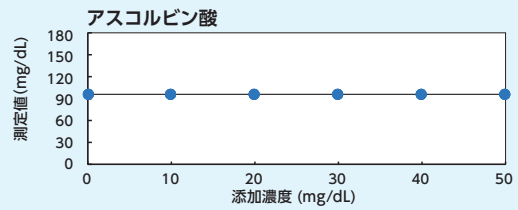
<尿>

〔日立7180形自動分析装置にて測定〕

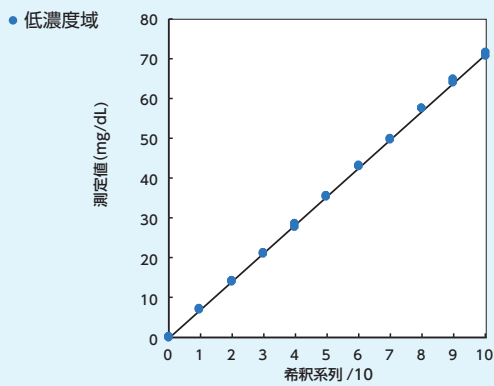
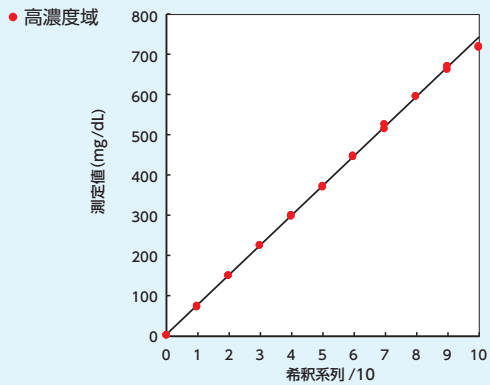
同時再現性

検体 I (mg/dL)		検体 II (mg/dL)	
データ数	20	データ数	20
平均値	73.729	平均値	157.880
最大値	74.24	最大値	160.59
最小値	73.16	最小値	156.14
範囲	1.08	範囲	4.45
標準偏差	0.319	標準偏差	1.040
変動係数	0.43%	変動係数	0.66%

共存物質の影響



直線性



L CRE-K

キット構成	R-1	酵素試液 I	N-エチル-N-(2-ヒドロキシ-3-スルホプロピル)-m-トルイジンナトリウム (TOOS)、クレアチナーゼ、ザルコシンオキシダーゼ
	R-2	酵素試液 II	Good 緩衝剤、クレアチナーゼ、パーオキシダーゼ、4-アミノアンチピリン
包装単位	R-1	45mL×4	
	R-2	15mL×4	
貯法	冷暗所 2～10℃で保存		
有効期間	製造後 1 年間		

製造販売元： **ニッポーメディカル株式会社**

〒963-8061 福島県郡山市富久山町福原字塩島1番地

問い合わせ先： ニッポーメディカル株式会社

TEL.03-4582-5420 FAX.03-3238-4591